

報告書抄録

ふりがな	
書名	
副書名	
巻次	
シリーズ名	京都府遺跡調査報告集
シリーズ番号	第159冊
編著者名	
編集機関	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
所在地	〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番の3 Tel. 075(933) 3877
発行年月日	西暦2014年3月27日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m <sup>2</sup>	
しよくぶつえんきたいせき・しもがもなからぎちよういせき	きょうとしさきやうくしもがもはんぎちよう					20111125 ～ 20120305	2,200	建物建設
植物園北遺跡・下鴨半木町遺跡	京都市左京区下鴨半木町	26103	146	35° 02' 55"	135° 46' 01"	20120406 ～ 20130308	6,000	

備考：北緯・東経の値は世界測地系に基づく。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
植物園北遺跡・下鴨半木町遺跡	集落跡	古墳～近世	竪穴建物・掘立柱建物・柵列・柱列・柱穴・溝・土坑・流路	弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・黒色土器・瓦質土器・陶磁器・瓦・線・石製品・鉄製品	三面廂建物

所収遺跡名	要 約
植物園北遺跡・下鴨半木町遺跡	<p>今回の調査では、おもに奈良～平安時代の遺構群を確認し、同時期の竪穴建物9基、掘立柱建物39棟を確認した。過去の調査で、遺跡の北部から東部では、古墳時代前期を中心とした集落が展開することがわかっていたが、遺跡の南部では、奈良～平安時代を中心とした集落が大きく広がることが判明した。</p> <p>確認された遺構のなかで特に注目されるのは、三面廂をもつ平安時代前期の掘立柱建物S B5130である。奈良時代後期の建物群は方位を大きく西に振るものがみられるが、この建物を含む平安時代前期の建物は、おおよそ真北に向けて揃えられており、集落が平安時代前期に規格性をもって整備されたことがわかった。</p> <p>調査地は、平安京の北東の京域外にあたるが、山城国一宮として崇敬された上賀茂神社や下鴨神社が所在する地域であり、奈良時代後期から平安時代前期に大きく開発されたことがわかった。また、三面廂の大型掘立柱建物が見つかったことから、一帯は有力な集団の居住域であった可能性がある。今回の調査によって、平安京遷都(794年)前後の京域周辺における集落の構造と変遷を知る貴重な資料を得ることができた。</p>